

# 福岡教育連盟

アピール  
福岡教育連盟 第578号  
(令和2年9,10月号)  
毎月20日発行  
発行者/福岡教育連盟情宣部  
編集者/藤本 宏 樹  
発行日/令和2年9月20日  
事務局/  
〒812-0045 福岡市博多区東公  
園7-7 福岡県庁地下1階  
TEL 092 (631) 2901  
FAX 092 (641) 8370  
URL <http://www.fenet.or.jp/>  
E-mail [fenet@fenet.or.jp](mailto:fenet@fenet.or.jp)  
発行責任者/山内 省 二

## 保護者とよりよく付き合うには

青年部  
義務教育部

## 専門部集会

専門部集会が8月29日、福岡リーセントホテルで開かれた。「保護者とのよりよい関係作りを目指して」をテーマに青年部と義務教育部とが合同開催。

また特別支援教育部は「人権が尊重される学校づくりに向けて」をテーマに協議を行った。



解決の道を探り、協議が白熱

保護者との対応を巡って、現場ではよりよき関係作りのための模索が続いている。現場での様々な課題を共有し、解決の



事例報告を行う北九州西支部青年部長・山津美輝教諭（折尾高校）

道を探ろうと、青年部と義務教育部が合同で協議・研究を行った。最初に、北九州西支部青年部長の山津美輝教諭（折尾高校）が事例報告。現場での保護者との対応の難しさを説明した。各班に分かれ、「自転車通学生の通学路を指定しているが、な

## 綱 領

- 一 われわれは、日本の教育をより正常化し、我が国の発展と繁栄に寄与する。
- 一 われわれは、日本の歴史と伝統、文化を尊重し、我が国と郷土を愛する心を養う教育を実践する。
- 一 われわれは、教育専門職としての使命を自覚し、自らの資質と能力の向上に努め、たゆまぬ研鑽に励む。
- 一 われわれは、教育公務員としての社会的責任を果たすため、法を遵守し、政治的中立の立場を堅持する。
- 一 われわれは、教育条件及び勤務条件の改善に努め、教職員の社会的、経済的地位の向上を図る。
- 一 われわれは、教育的良心のもとに結集する教職員の輪を広げるため、情報宣伝活動を活発に行い、広く国民の理解と信頼を得る。

## 【今月のアピール】

- 専門部集会……………1
- コロナ対応要望書第2弾回答……………2
- 総括安全衛生委員会……………2
- 10月8日「福岡コロナ警報」解除……………3
- 第145回評議員会……………4
- 中央情勢報告……………6
- 主眼「9月入学・始業」について……………8
- 日月抄……………8

## 人権が尊重される学校づくり

特別支援  
教育部

「他の道は通ってはだめなのか。」「なぜ男子の長髪は認められないのか。」「修学旅行で携帯電話が使えないのはなぜなのか。」「といった問い合わせが実際に保護者からあった場合、適切に対応するにはどうすれば良いかについて分析・協議がなされた。クレームとして捉えるのではなく、保護者が求めているのは「合理的な説明」というスタンスで対応する、学主任や生徒指導主事なども交え複数

人で対応する、等々の建設的な意見が飛び交い、「適切な対応」についての議論が深まった。

「保護者対応で悩んでいるのは自分一人ではなく、多くの先生方がいるということが分かり、とても心が楽になった。」という感想が多く見られ、悩みを分かち合い共感できる場としても機能し、満足度の高い会となった。更に協議・研究を深めるため、十月十日に第二回目をを行う予定。



ワークシートを活用しての議論

各学校での人権教育に関する実態について報告がなされた。「力を合わせて子供を育てている」という家庭は、子供が明るく前向きな性格

が多くなると感じる。「わが子の障害を受け入れて過大な要求をせず、前向きにわが子に適した進路を考えている保護者の場合、子供も素直に育つ傾向が高い。」といった反面、「子供に対する愛情が感じられない家庭が増えている。」という報告もあった。その後、ワークシートを用いた協議で、「人権が尊重される学校づくり」のための議論が白熱した。